

計画第3期 小中一貫教育とCSの充実へ

小中一貫・CS 通信

NO. 37 R4. 4. 28 幕別町教育委員会 学校教育推進員

オミクロン株の勢いが収まらず、十勝でも感染者数の高止まりが続いています。コロナ禍収束まではまだかなりの時間を要しそうですが、これまでに培った経験を生かし、コロナありきの学校教育活動を進めていきましょう。

さて、小中一貫教育、コミュニティ・スクールの本格導入からまる3年が経ちました。小中一貫校としての体裁だけではなく内実が問われる年数が経過しています。コロナ禍で遅れがちな取組を可能な限り取り戻し、名実ともに小中一貫教育・CSの学園として充実を図る一年にしたいものです。

今月は、各学園総会の様子を中心にお知らせします。

広い会場で総会開催！ 4/14 百年記念ホール

4月14日（木）、幕別町教育振興会総会の後に、各学園総会が開かれました。（ちゅうるい学園だけは忠類中学校の修学旅行のため4/27に総会を開催します。）

まくべつ学園では、コロナ禍でも果敢に取り組んだ昨年度の経験を生かし、今年度も活動計画を決定しました。「小中一貫して重点的に指導する内容とポイント」を活用した乗入授業等による学力向上策の具体化、児童生徒会の交流活動の充実や行事等のすり合わせなどによる不登校対策の具体化、昨年度作成「地域データベース」を活用した実態把握と地域教育素材の開発やケース会議等の対象となっている子の共通理解と共通指導などに取り組むことにしています。



さつない学園では、今年度も全体会の開催時間と内容を縮減し、学園経営方針を確認しました。今年度の重点を進めるため、部会構成の軽重をつける配慮も事務局から説明されました。この後、5月に小部会ごとに会合を開催し具体的な計画を策定することになっています。合唱（うた）の取組とともに小中一貫教育課程の作成や乗入授業の具体化を進めていくこととなります。



札内東学園では、中学校登校の年3回の実施と交流の充実、中学校教諭による小学校への乗入授業の実施、CS関係の地域学園協働本部活動の具体化など、これまでの活動の流れに沿った計画が決定されました。乗入授業の回数拡充や教育課程作成のテンポアップ等について熱い議論になる場面もありましたが、それらについては今年度検討を続けていくことにし、活動計画が決まりました。本音での論議を重ねて、よりよい合意作りの進展を期待しています。



裏面に続きます

糠内学園では、初めに田中学園長が今年度の重点と期待されているミッションについて説明し、その後3つの部会に分かれ今年度の計画について話し合いました。



「職員数が限られる小規模学園で乗入授業の拡充をどう図るか」等の難しい課題に、みんなで知恵を出し合う姿が見られました。小中一貫教育課程の作成や ICT 活用授業の研究など、今年度も計画的に取り組を進めることにしています。

ちゅうるい学園の総会の様子は、来月号でお知らせします。

令和4年度第1回運営協議会 3/28 開催 札内東学園

3月28日(月)、札内北小学校を会場に令和4年度第1回学園運営協議会を開催しました。学園三校の学校経営方針を承認いただき、運営協議会の令和4年度の組織体制、活動計画も承認されました。協議終了後、委員一人一人から一年間の感想や次年度の抱負をいただきましたが、好意的な意見・感想が多く、温かい雰囲気の中で会合を終えることができました。



春休み学習教室 4/5 まくべつ学園

春休み中の4月5日(火)、幕別中学校にて新入生を対象とした「春休み学習教室」が行われました。入学後すぐに行われる学力テストの対策プリントを中学校の教科担任が解説する学習会。ちょうどその日が学級発表ということもあり、同じ学級となる仲間と担任を確認してから教室へ。普段から乗入授業でなじみのあ

る中学校の先生方に挨拶をしてから入室し、学力テスト対策に励みました。「説明がわかりやすく、不安が減ったのでよかった。」「中学校でのテストへの取り組み方を教えてもらえてよかった。」「問題の解き方や見直しの方法がわかってよかった。各教科の先生のアドバイスを生かし、これから入学の準備をしようと思った。」という生徒の声がありました。昨年度すでに、のべ5日の中学校登校を体験していた新入生でしたが、子どもたちも教員も入学後のイメージを改めてもつことができた学習会となりました。

今年度の重点 小中一貫教育課程作成とCSの具体的活動充実

小中一貫教育とCS推進のロードマップでは、令和4年度は第3期の「CS本格実施」を重点とする2年間の最後の年となります。コロナ禍のため、遅れがちになっている小中一貫教育の充実とCSの具体的活動推進の二本立ての年度となります。

特に整備が遅れている小中一貫教育課程の作成は待ったなしの課題となります。地域学習の教育課程は早急に、各教科はその過半数を今年度中に完成させることが求められています。さらに、教職員全員がその教育課程をよく読みこんでいくことも大事なポイントです。

この教育課程の具体的な活用として乗入授業が挙げられます。乗入授業は、小中一貫校の特権とも言うべき取組であり、実際多くの時数を実施しているまくべつ学園では、目に見えて成果が上がってきています。小中一貫教育導入の目的である学力向上に直結する乗入授業を、今年度は全学園で数多く実施することを目指してがんばりましょう。

今年度の小中一貫教育・CS推進連絡会議は7月と2月に開催します